

## 寄附のお願い

時下、貴台におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年 6 月、私たちは、今日世界が共に取り組んでいる「SDGs(持続可能な開発目標)」実現を促進する地方の組織として、**一般社団法人環境市民プラットフォームとやま(略称「PEC とやま」)**を創設いたしました。SDGs は、2030 年をゴールとする、貧困・飢餓、健康・福祉、エネルギー・気候変動、平和・公正など 17 の目標と 169 のターゲットからなる持続可能な開発のための目標であり、国連に加盟するすべての国が 2015 年 9 月に SDGs を全会一致で採択しました。

今日、地球温暖化による気候変動は、様々な自然災害をもたらしています。日本でも広域に及んだ水害とその後の酷暑は、観測史上類を見ないものとなりました。日々身体に感じ、間近に見聞きする不安な変化や悲しい被災に対して、一人の市民、一つの企業、一つの自治体は、何もできないかもしれません。しかし、地球社会が存続するために、共通する目標と取り組むべき課題が決められた今、私たちに残されている希望は、地域や国、思想や制度、宗教や人種などが違っていても、共に進む方向性に向かい、全ての国が賛同し、目標の実現に向けて歩みを始めたことです。

私たちの住む富山は、比較的災害が少なく、自然豊かな恵まれた環境にあります。歴史を振り返ると富山でも大規模な洪水に襲われ、また、地震も発生しています。近年では、公害であるイタイイタイ病を経験しました。富山の人々は、そのような災害や公害を克服してきた歴史があります。健康と福祉という観点でも、病を癒し、予防する富山の薬産業は、全国に知れ渡っています。再生可能エネルギーである小水力発電は先進県として日本をリードし、バイオマス発電の分野でも様々な取り組みが広がっています。

「富山でも SDGs でつなぐ足元からの活動を活発にしていきたい」私たちはそのための情報と人の交流基点として、「PEC とやま」を設立しました。

未来社会をつくる若い人たちのパワーで、地域内外の調査や情報収集と発信を進め、地域の市民・自治体や企業・団体の SDGs の取り組みを促進します。そのための研修や人材育成にも力を注ぎ、市民社会全体のエンパワーメントを図ります。また学校や地域との連携を進め、次世代の人づくりにも注力していきます。

この産まれたばかりの「PEC とやま」が組織として、富山の市民・自治体や企業・団体の活力となるように、趣旨をご理解くださり、ご寄付を賜りますよう、心からお願いいたします。

一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま

代表理事 島田 茂

代表理事 上坂 博亨

代表理事 東澤 善樹